



新マングース根絶計画
による作業区域

※数字の順番に
根絶作業を進める

マングース防除事業検討委員
会は4日、国頭村民ふれあい
センターで会議を開いた。ヤンバ
ルクイナなど沖繩にしかない生
き物に被害を与えるマングースを
2022年度までに根絶する新
しい計画を決めた。



【国頭】環境省と
県、大学教授らでつ
くる「沖繩島北部地域

22年度にマングース根絶 本島北部対象に新計画

マングース根絶計画は国と県が
05年から10年計画で進めてきた。
残り2年での達成が難しいこと
や、この間に北部でマングースが
多くすむ地域が分かったため、最
初の計画を見直した。

新計画は、本島北部を八つの地
域に分け、マングースが少ない場
所から集中して作業を進める。
地域内のわなや自動撮影カメラで
1年以上確認できない所は根絶
したと考え、その後は新たに侵
入しないよう防護柵を造る。国
頭村北西部では12年度に入って根
絶したとみられる地域もある。

検討委員の石井信夫・東京女
子大教授（保全生物学）は「最
初の計画ができた8年前にない
情報がこの間に得られ、新計画
はさらに10年後を考えていこう
ということだ。マングース根絶と
在来種回復という目的のうち、回
復は果たした」と話した。